

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束廃止の取り組みを行う。	現在、安全対策のために必要最低限の身体拘束があるので廃止できるように努める。	スタッフ全員で身体拘束の廃止の事を理解をして、廃止案を実践していく。	12 ヶ月
2	26	現在、空欄のあるフェイスシートを埋めていく。	フェイスシートを埋められるように、本人のことを知っていく。	家族や本人の聞き取りを行ったり、日頃の会話から話を拾っていく。	12 ヶ月
3	32 33	利用者の状態を理解してもらい、医師、看護師、介護スタッフと連携が取れるようにしていく。	協力医院と看護師を含め医療連携を進めていく。	週2回の看護師訪問の時、利用者のことを報告や相談を行う。	12 ヶ月
4	47	利用者に入浴を楽しむ機会をつくる。	浴槽に入る事が難しい利用者にも機会をつくること。あと、変わり風呂を取り入れることで入浴を楽しめるようにする。	月1~2、スタッフを確保して入浴が難しい利用者にも浴槽に入れるようにする。バラ風呂などの変わり風呂を取り入れる。	12 ヶ月
5	42	食事をスタッフが一緒に食事を取れるようにする。	現在、昼食が外注になったのでスタッフと利用者が一緒に食べる機会をつくる。	月1でお弁当を頼み利用者とスタッフが一緒に食事を取ったり、スタッフ持参の昼食で一緒に食事を取る機会をつくる。	6 ヶ月